



第3061回 例会

2025. 5. 28

会長あいさつ



2024-2025年度 門崎 由幸会長

週報 No.2290

発行 2025年 6月12日

2024-2025年度

会長 門崎 由幸

幹事 齋藤 哲雄

副会長 坂本 忠光

副幹事 大木 崇寛

編集責任者・公共イメージ向上委員会

委員長 丹井 亮一

ゲスト

ダナン整形外科リハビリテーション病院
タン院長先生、
リム医師、バオ医師、
テン医師、チェン事務局長、
通訳 ハイさん

埼玉県総合リハビリテーションセンター
センター長 市川 忠雄
医長(リハビリテーション部長)
堀 匠 様

医療法人藤仁会 藤村病院
理事長 藤村 作様
リハビリテーション部部長
医学療法士 前原邦彦様

VTTプロジェクトコーディネーター
池田 卓生 様

ロータリー米山記念奨学生
2021・2022 学年度 莊 正宇くん
2024・2025 学年度 王 曉瑜さん
世話クラブ 春日部ロータリークラブ
ホー ティ ジュウ フェンさん

皆さん、こんばんは。本日もご出席いただきありがとうございます。
本日はダナン整形外科リハビリテーション病院、タン院長先生をはじめとする医師の皆さま、スタッフの皆さま、来日していただきまして誠にありがとうございます。心から感謝を申し上げます。今日は歓迎会を開催させていただきます。上尾クラブのメンバーの皆さんにも大勢ご参加いただき誠にありがとうございます。

今回、ダナンVTTプロジェクトという形で昨年7月から準備が始まり、7月、10月にダナンへ行ってまいりました。その際は、準備や寄贈式で病院スタッフの皆さんに大変お世話になりました。ありがとうございました。そして藤村病院の前原先生には、研修という形でご指導をいただき大変ありがとうございました。さらに池田卓生さんに関してはコーディネーター役という形で、我々がダナンへ渡る前から現地に入っていたいただき、色々と調整をさせていただきまして誠にありがとうございます。そしてダナンの先生方が来日され、埼玉県総合リハビリテーションセンターで研修をさせていただきました。市川忠センター長様、堀匠医長様、本当にありがとうございます。2日半という日程でしたが、おそらく様々なスキルや知識を得られたのかなと思います。この研修で得たことを、またベトナムに帰って、活かしていただければと思います。

ダナンのスタッフの皆さまが来日したのが5月25日(日)で、昼食を一緒にいただき、その後、氷川神社を見学しました。そして、26・27日の2日間と、28日の午前中に埼玉県総合リハビリテーションセンターで研修をしていただきました。本日28日は、午後から川越の方へちょっと観光に行き、今に至る次第です。また明日は東京はバスツアーで観光をしていただくスケジュールになっています。

まずは今回のVTTプロジェクトが、持続可能な事業として今後どういった形で継続できるのか、また最終目的はどこを目指すのか、しっかりと計画を作り上げ、今後につなげていければなと思っております。簡単ですが以上で会長あいさつとさせていただきます。本日もよろしくお願い申し上げます。

お客様からあいさつ

ダナン整形外科リハビリテーション病院 タン院長先生

私は医大を卒業して、30年間、ダナンのリハビリ病院で働いています。ベトナムの中で、ダナンが中部の一番大きな街なのですが、全国で考えたら、まだまだ一番大変な場所です。今でも戦争が残っていることとも一番大変なところ。中部は戦争の時、南ベトナムと北ベトナムが分かれたところで、一番激しい戦地でした。なので、戦争の時に埋められた地雷が今も残っていて、爆弾が爆発して怪我をした人が我々の病院に多く入院しています。去年、藤村先生と病院のメンバーの方、それにロータリークラブのメンバーさんたちが当院に来て支援していただき、とても助かりました。寄贈していただいたリハビリ機器をスタッフ一同、ありがたく使っています。それに今回、初めて日本に訪問できて、埼玉県総合リハビリテーションセンターを視察させていただき勉強になりました。本当にありがとうございます。池田さんいろいろなコーディネートをさせていただいて、ありがとうございました。また藤村病院の前原先生にはベトナムの暑い時季に1週間も滞在していただき、いろいろ教えていただきました。ありがとうございました。本日は観光まで案内していただき、それから上尾ロータリークラブのメンバーさんたちも、忙しいところ、本日の会に参加していただいて本当にありがとうございました。我々も頑張りますので、引き続き日本からいろいろサポートしていただきたくお願いいたします。皆さんがベトナムに来る機会がありましたら。私たちも空港まで迎えに行きます。この度は本当にありがとうございました。



埼玉県総合リハビリテーションセンター センター長 市川忠雄様

上尾ロータリークラブの皆様方、本日はお招きいただき本当にありがとうございます。ダナンから整形外科リハビリテーション病院の先生方をお迎えするにあたって、実はどんなプログラムで迎えたいかわからなかったのですが、堀医長

や藤村病院の先生方に協力いただき、2日半、当センターを見ていただきました。ベトナムと日本の医療事情は少し違うでしょうが、それでもリハビリテーションという共通語でコミュニケーションができたのではないかなと思っています。

今日、お腹にポンプを入れて脊髄損傷患者さんの症状を緩和する治療法に大変興味を持っていただいたということがわかって、ベトナムではその治療方法が承認されていないということです。今後導入できるように日本からも協力をしたいと考えているところです。我々にとっても、病院のスタッフにとっても、お客様をお迎えしてご説明するという事で、病院を見直す機会にもなりまして、ダナンの先生方から大変丁寧なお礼を言っていたいただき、そのままリハビリの我々のスタッフに伝えて、自信を持ってもらえる要因になったのではないかなと思っています。

今回このような貴重な機会を与えていただいた上尾ロータリークラブの皆様本当に心から感謝を申し上げます。2日半一緒にさせていただいて、ベトナムと一緒に協力していけるパートナーの国ではないかなと強く感じました。今後もこのようなプロジェクトがありましたら、我々も少しでも参加させていただければ感じたところです。本日はお招きいただきどうもありがとうございました。

VTTプロジェクトコーディネーター 池田卓生様

皆さんこんばんは。プロジェクトの始まりは、2019年に須田さんから、ダナンにある孤児院に寄付事業を行いたいというところからだったのではないかなと思います。その後、コロナで皆様がダナンに来られず、逆に私は日本に帰れない状況だった時に大木さんからお話をいただき、2770地区の国際奉仕部門の寄付事業を代行に行いました。また藤村先生にもお話を頂戴して、そこから手探りで少しずつ話を進め、ダナンロータリークラブと共にこの事業をスタートして今に至る次第です。ここまでプロジェクトが続くということは何かが縁がある間柄だと思います。このご縁が今後も絶やすことなく広がっていくと素晴らしい未来が待っているのではないかなと思っています。ダナンの皆様、お越しいただきありがとうございます。



医療法人藤仁会 藤村病院 理事長 藤村 作様

藤村病院 リハビリテーション部部長 医学療法士 前原邦彦様

VTTプロジェクトを昨年ダナンでやって、今週、埼玉県リハビリテーションセンターで行いました。経緯を話すと結構長くなるので、池田さんが話していたことに少しだけ補足します。以前、上尾ロータリークラブがダナンの赤十字の施設に奉仕をする事業があって、クラブのメンバーで行ったのがダナンとの始まりです。何回か奉仕事業をしているうちに、このプロジェクトになりました。赤十字の施設に物資を寄贈したり、施設の補修工事をした際、施設には全然動けない、寝たきりの子どもたちを大勢見かけました。話を聞くと、ダナンは戦地だったところですし、未だに第三世代、第四世代になっても枯葉剤の影響で寝たきりの子どもたちがたくさんいるとのことでした。そこで何かやれることはないかと考えたのが事業のきっかけです。



物資を与えるだけでなく、職業として勉強していただける機会を作れないかということで、ロータリークラブにあるVTTというシステムを使って、ダナンの人々と交流を図っていきたくとスタートしました。VTTは日本中のロータリークラブの中でも、一年間に当クラブと名古屋のクラブの2つの事業しか成り立っていません。当事業を企画していた頃は、実はベトナムにはまだロータリークラブがありませんでした。現在はベトナムに4つぐらいクラブができていますが、ダナンロータリークラブが発足した時にまたま見つけて、ぜひロータリアン同士で事業をしたいと、私が独自に連絡をしてOKをいただき、そこからクラブに病院を紹介していただいて 現在に至った次第です。

昨年2回、こちらからダナンに行って機器を寄贈し勉強していただいて、今回はダナンから来日してもらい、日本のリハビリのシステムを視察いただきました。埼玉県総合リハビリテーションセンターの市川センター長にはたいへんお世話になりました。このセンターは日本でもトップクラスのリハビリ病院ですので、最新の医療がよくわかったのではないかなと思います。藤村病院と上尾クラブが協力し、これからは連携して、ダナン病院の発展につなげられたらと思っていますので、これからも末長いご協力をよろしくお願いいたします。

今回、ダナンの病院へリハビリ機器を支援するという貴重な事業に携わらせていただきありがとうございます。私の病院でも使っていないような最新鋭のリハビリ機器を寄贈させていただきましたので私も機器の使い方も含めて勉強できました。ダナンはまだ若い世代が多く、これから高齢化社会を迎えます。高齢者に対する支援というのがこれからというところでありますので、いずれそちらも発展していただけたらいいかなと思いますし、私たちが少しお手伝いできたらと思いますので、引き続きお付き合いをさせていただければと思います。



2021・2022 学年度 米山記念奨学生 莊正宇くん

博士学位を修得したことで貴重な記念プレゼントをもらえてとても嬉しいです。上尾ロータリークラブの皆さん、本当にありがとうございました。



2024・2025 学年度 米山記念奨学生 王曉瑜(オウ・キョウユ)さん

今月の奨学金もありありがとうございます。今日は友達春日部ロータリークラブのホーさんと一緒に参加できて、すごく楽しいです。



米山記念奨学生 ホー ティ ジュウ フェンさん(春日部RC)

皆様こんばんは。私はベトナム出身のフエンと申します。現在、春日部RCにお世話になっており、共栄大学国際経営学部の4年生です。本日、こちらからの例会に参加させていただいたのは、日本の医療業界に興味があり、ベトナムに支店を持つ日本の医療系企業に参加しているからです。将来は仕事に就いて、ベトナムと日本の架け橋のような存在になりたいと思っています。本日は宇多村さんの紹介で、この場に参加することができました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



出席率	
会員数	33
出席免除	3
出席対象者	30
出席者数	20
66.67%	

第3062回例会 2025.6.5 移動例会 桶川飛行学校平和祈念館へ

戦後80年の節目を迎える今年、移動例会で桶川飛行学校平和祈念館にお訪ねしました。祈念館ではセンター長のご挨拶の後、陸軍航空兵になるための飛行教育を受ける生徒さんの環境、一日の学校生活の流れなど館内を丁寧にガイドしていただきました。この飛行学校から航空兵になり隊に所属して特攻を行った方々もいたそうです。尊い命を捧げた先人たちのおかげで今の日本があることに深く頭を下げ、平和の大切さを胸に刻みました。見学後、三朝寿司さん(桶川イブニングRC会員)で、美味しい食事をいただきました。



例会日 毎週木曜日12:30~13:30 事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303
例会場 上尾東武ホテル3F(コミュニティホール) TEL 048-775-7788 / FAX 048-776-9799

